

は じ め に

現在、石狩市内には 500 ヶ所余りの「ごみステーション」が設置されており、毎日多くの市民や各町内会役員等による清掃美化など日々の管理が行なわれている中で、大量の廃棄物が収集運搬され適正に処理されております。

本市では、平成 13 年度「ごみ減量化都市への挑戦元年」と位置付け、ごみ減量化計画を策定し、さまざまな減量施策の取り組みを実施してまいりました。

その結果、ごみ処理量のピークでありました平成 12 年度 19,942 トンに対して平成 15 年度末では 18,056 トンと 3 年間で約 2,000 トンの減量を達成し、市民一人一日あたりでは 100 グラムを超える減量効果が表れております。

しかし、ごみ総排出量は減少傾向にありますが、「粗大ごみ」の排出量は一旦減少したものの再び増加傾向にあり、粗大ごみと大きく関連しております処理困難物(テレビ・タイヤ・スプリングマットレス等)の誘発による不法投棄や、戸別収集を含んだ「ごみステーションのあり方」など、ごみ減量化計画策定時に多くの意見が寄せられておりました。このたび、本市として初めて粗大ごみの組成調査並びにごみ問題に関する意識調査を実施いたしましたのでご報告いたしますとともに、ご協力をいただきました多くの市民の皆様には厚くお礼申し上げます。

なお、この調査は、緊急地域雇用創出特別対策推進補助金を活用し、限られた条件の中で実施したものでありますが、この調査によって得られた資料は今後の廃棄物行政に反映させて参りたいと考えております。

平成 16 年 7 月

生活環境部ごみ対策課